

【調達予定案件情報】 プレ公告

2025 年 12 月 3 日

独立行政法人国際協力機構北海道センター

1. 業務名称（仮称）：
2026～2030 年度 開発教育支援/地域交流支援事業運営業務
2. 公告時期（予定）： 2025 年 1 月上旬
3. 業務実施期間（予定）： 5 年（2026 年 4 月～2031 年 3 月）
※2031 年 3 月は引継期間
4. 競争方法（予定）： 一般競争入札（総合評価落札方式）
5. 業務内容（概要）： 本件は独立行政法人国際協力機構北海道センター（札幌）が実施する開発教育支援事業を委託するもの。ほっかいどう地球ひろば運営、国際協力出前講座の調整業務、国際協力体験プログラム・指導者研修の運営、広報コンテンツ作成等を通じ国際協力への理解を促進することを目的とする。

主な業務内容は以下の通り。

（１）「ほっかいどう地球ひろば」訪問者への施設案内及び展示企画・運営・管理業務

JICA 北海道（札幌）施設内に併設する「ほっかいどう地球ひろば」（2017 年 4 月に開設、約 300 ㎡）はそれぞれテーマがゾーン A「世界を知る」、ゾーン B「世界とつながる」、ゾーン C「世界を変える」と分かれており、ゾーン C については、約 3 か月ごとに展示の入れ替えを行っている。現在、小学校・中学校・高等学校等、教育機関をはじめ様々な団体及び個人からの依頼に基づき、館内展示の見学・体験、ワークショップ等を組み合わせ、訪問者の受入れを実施している。本業務において受託者は、「ほっかいどう地球ひろば」訪問者への施設案内及び展示企画・運営・管理業務を行う。

（２）国際協力出前講座調整業務

国際協力出前講座とは、教育機関（小学校・中学校・高等学校等）や各種団体からの依頼に基づき、開発途上国で活動した JICA 海外協力隊経験者、JICA 職

員等を講師として派遣し、JICA 事業や途上国の状況、生活事情等について講話を行うことにより、国際協力について考える機会を提供する講座である。

本業務において受託者は依頼元の要望に基づき、講師の選定等を行う。

（３）異文化交流プログラムの調整及び実施業務

JICA が行う研修員受入事業で開発途上国から来日している研修員が小学校・中学校・高等学校などを訪問し、交流を通じて開発途上国や異文化理解に関する児童・生徒の興味・関心を引き出すもの。対応可能な研修員は JICA 北海道（札幌）主管の研修コースに限られ、訪問校は公募により決定する。

本業務において受託者は、訪問校と研修コースとの調整役を担い、日程及び交流内容の調整等を行う。実施日には研修員に同行し、交流事業が円滑に進むよう支援する。

（４）研修員地域交流調整及び実施業務

一般市民を対象として JICA 北海道（札幌）が主催する行事、または外部団体の主催する行事で JICA 北海道（札幌）が共催・協力等を行うものにおいて、研修員との交流を通じて開発途上国や異文化理解に関する興味・関心を引き出すものである。各行事は様々な内容で構成されるが、本業務についてはその中で研修員が関わる部分を対象とする。

本業務において受託者は、行事の内容を本邦滞在中の研修員に説明した上で、参加研修員を募集する。実施日には研修員に同行し、交流事業が円滑に進むよう支援する。

（５）教師海外研修調整及び実施業務

開発教育/国際理解教育に関心のある教員等を対象に、事前国内研修、10 日間程度の開発途上国での現地研修、帰国後の事後国内研修を行い、現地研修での経験を発注者が定める開発教育アドバイザー指導の下、指導案作成・授業実践、成果報告会までを行う研修である。

本業務において受託者は、募集要項を作成する等、参加者の募集を行う。決定した参加者に対し、国内で行う事前・事後研修及び成果報告会の内容を、開発教育アドバイザーの意見を踏まえて企画・実施し、参加者の成果物（指導案）を報告集として作成するまでを行う。

（６）国際協力体験プログラム調整及び実施業務

小学生から高校生までを対象に、体験活動や参加型ワークショップを通じて、開発教育・国際理解教育を実施するプログラム。小学生には「総合的な学習の時間」のねらいに沿って、グローバル社会を生き抜く力や成長の芽を育むことを目的とし、中高生向けには、JICA ボランティアの体験談やディスカッション

を通じて、開発途上国の現状を知り、国際協力について自ら考える機会を提供する。

本事業において受託者は、上記の目的を踏まえたプログラム企画、参加者募集、実施・運営を行う。

（７）開発教育指導者研修調整及び実施業務

開発教育の指導にあたる教員を対象に、教材の作成活用、参加型学習の手法等を取り上げた研修を行うものである。主に、講義、ワークショップにより構成される。本業務では、発注者が企画する研修３回（５月、７月、１２月を想定）に加え、北海道立教育研究所、札幌市教育委員会、国際理解教育研究会等からの依頼による教員向け研修等の実施を想定する。

本事業において受託者は、上記の内容を踏まえた研修を企画し、参加者を集め、これを実施する。

（８）民族衣装・パネル貸出業務

JICA 北海道（札幌）では、民族衣装及び JICA 事業広報パネル（それぞれ約 100 点）を貸し出している。

本事業において受託者は、教育現場や市民からの貸出依頼に応じて、貸出業務を行う。

（９）その他附帯業務

（１）から（８）の業務に関し、同業務を円滑かつ効果的・効率的に実施するために必要な作業、実績の取りまとめ、事前・事後の JICA 北海道が有するウェブサイト・SNS や JICA 札幌センター内のサイネージ掲載用の広報コンテンツ作成、報告作成等を行うもの。

以上

※本案件は予定段階であり、本プレ公告は現時点での概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。予めご承知おきいただきますようお願いいたします。